

教科	科 目	単位数	学年・クラス
数学	数学C	2	3年2組（理）

1 使用教材

使用教科書	新編数学C
出版社	数研出版
副教材等	4プロセス数学Ⅲ+C 新課程教科書傍用
出版社	数研出版

2 学習の目標

- 1 授業内容を理解し、応用問題を解くことで、論理的な思考力を身に付ける。
- 2 演習問題を解くことで、既習事項の理解を一層深める。
- 3 日常生活の中にある数学に気付くことで興味・関心を持ち、積極的に取り組む。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。また、基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。
② 思考・判断・表現	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を多面的・発展的に考えたりすることを通して、数学的な見方や考え方を表現できている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	各単元に関心を持つとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
定期考査	A	B	C	総合的な出来
小テスト	A	B	C	既習事項を身に付けることができているか
課題	B	B	B	提出内容
授業	B	A	A	授業態度や発表、協調性があるか

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	第3章 複素数平面 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形	複素数平面について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 和や差、内積などベクトルの基本的事項を学ぶ。 ベクトルを平面図形の性質に関連させ、数学的な見方や考え方のよさを認識する。
2 学期	第2章 空間ベクトル 第4章 式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	平面ベクトルの性質が空間でもそのまま成り立つことを理解し、様々な事象の考察に活用できるようにする。 平面上の曲線がいろいろな式で表されることについて理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
3 学期	総合問題 共通テスト対策 模試過去問	入試演習を行い、総合的な数学の力を身に付ける。